



2024年1月期（40期） 第2四半期決算説明資料

株式会社ACCESS（4813）

2023年8月

ACCESS™

©ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

Agenda

1. 2024年1月期（40期）
第2四半期業績
2. ネットワーク事業の進捗状況
3. 通期業績予想及び中期ビジョン
（再掲）
4. Appendix

売上高 **6,738**百万円 **前年同期比 +31.1%**

営業損益 **▲1,125**百万円 **前年同期比 +890**百万円

- ・ ネットワーク事業の売上高がほぼ倍増
- ・ 全セグメントで損益改善

01

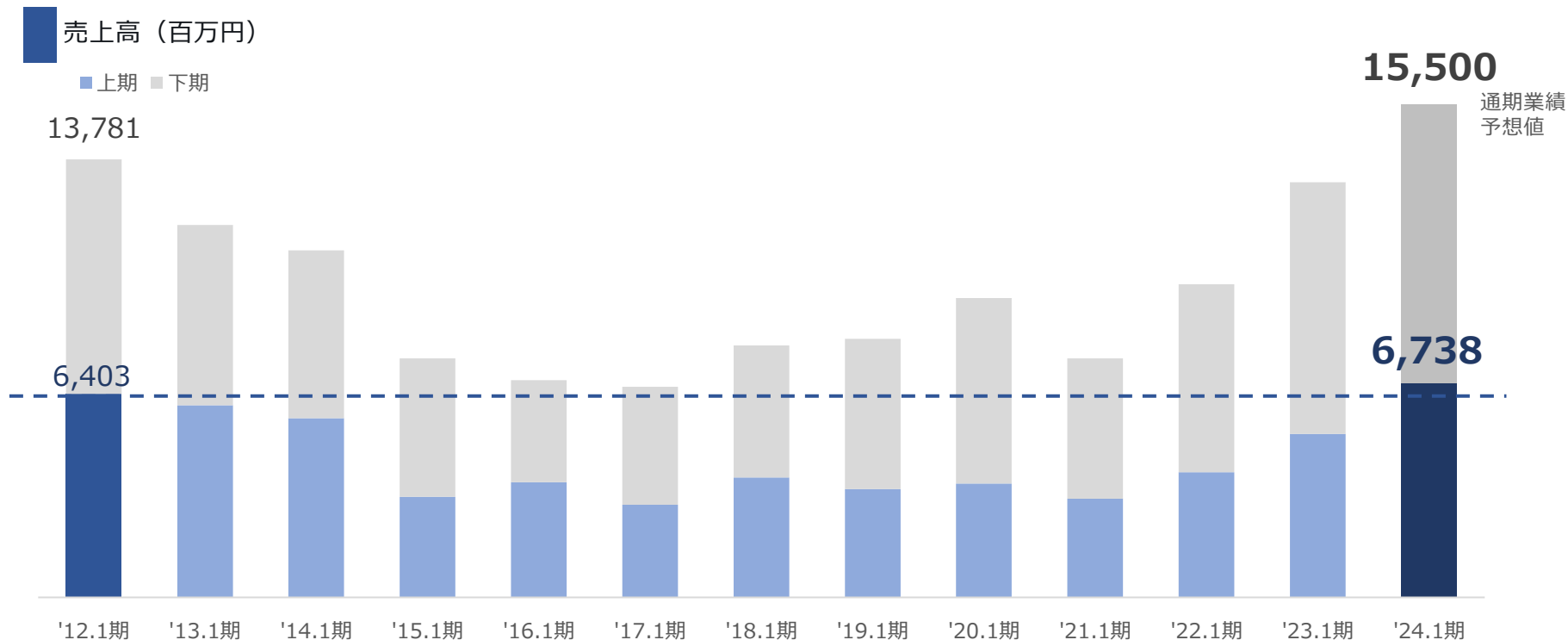
2024年1月期（40期） 第2四半期業績

売上高、各段階利益ともに業績予想値を達成

(百万円)	2024年1月期 上期 業績予想値	2024年1月期 上期 実績	要因
売上高	6,180	6,738	為替影響 +528
営業利益	▲1,290	▲1,125	為替影響 ▲124
経常利益	▲1,315	▲1,033	
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲1,349	▲1,087	
EBITDA*	(非開示)	355	

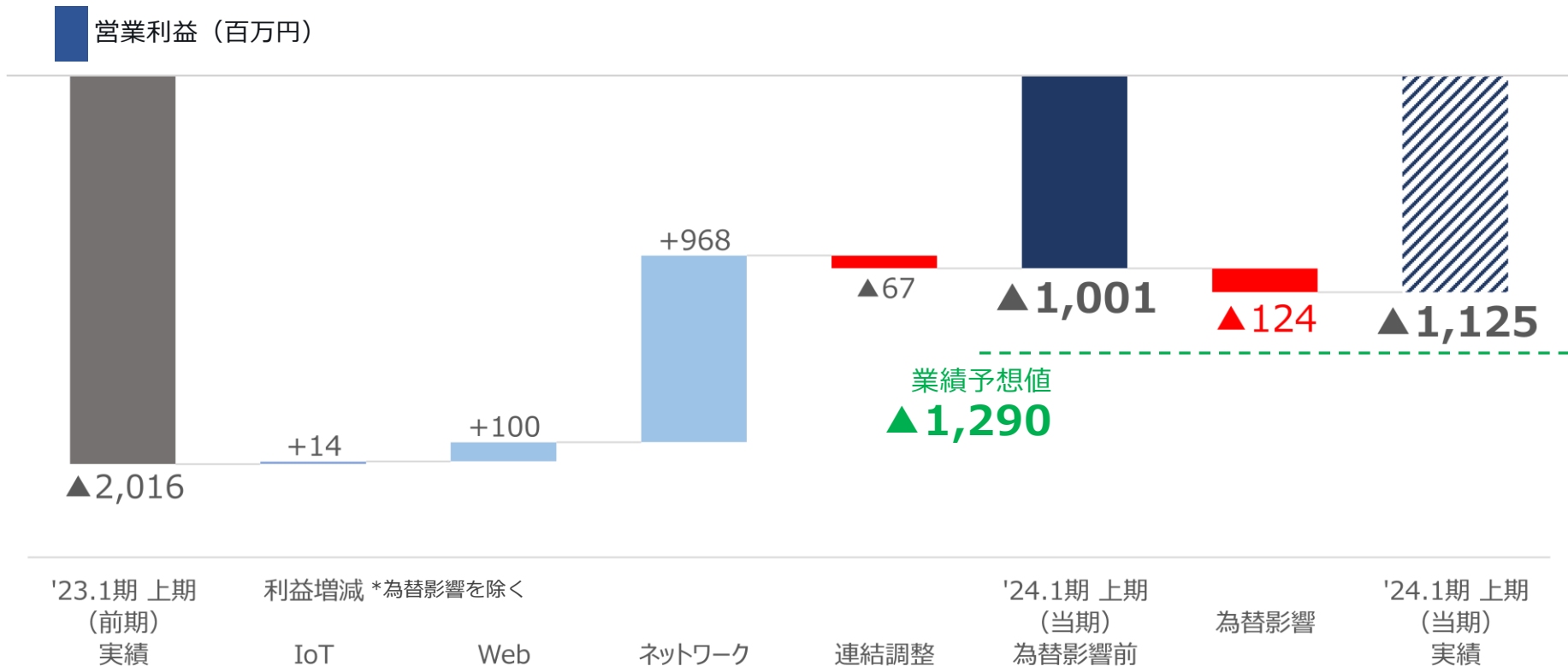
* : EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

上期の売上高としては、2012年1月期以降では過去最高



為替の影響を含め、当初想定*の連結営業損益より改善

(*上期業績予想値：営業損益▲1,290百万円)



上期時点でEBITDAが黒字化

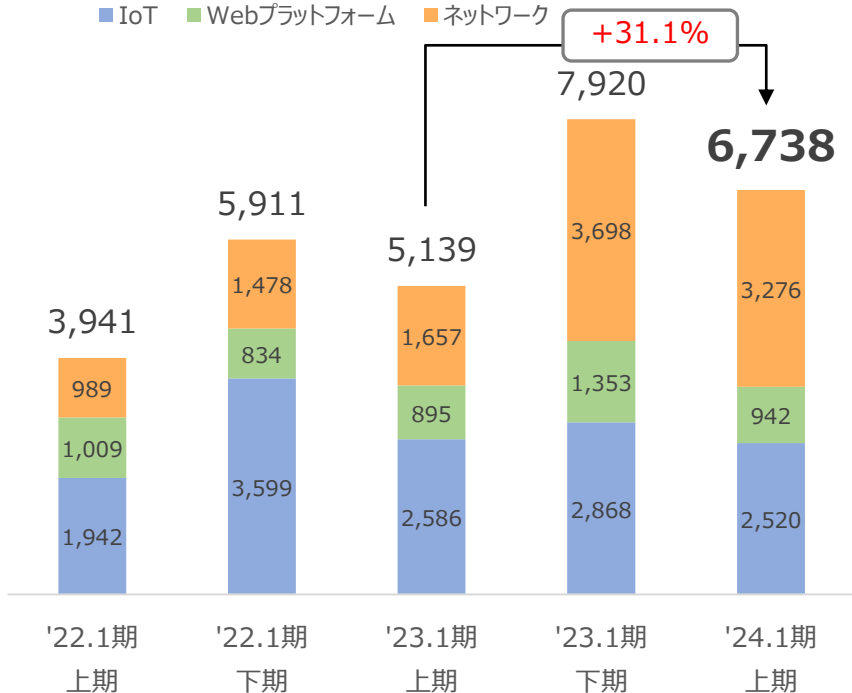
(百万円)	2023年1月期 上期	2024年1月期 上期	前期比
売上高	5,139	6,738	+1,598 / +31.1%
営業損益	▲2,016	▲1,125	+890 / —
EBITDA* EBITDAマージン	▲53 —	355 5.3%	+409 / — —

* : EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

ネットワーク事業の伸びが売上成長を牽引し、重要性がますます高まる

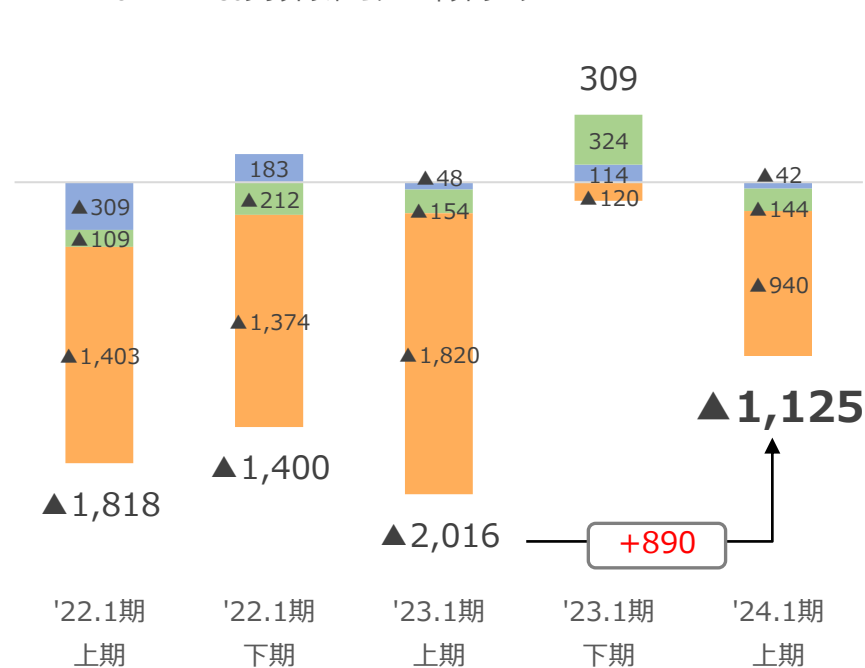
セグメント別売上高（百万円）

IoT Webプラットフォーム ネットワーク



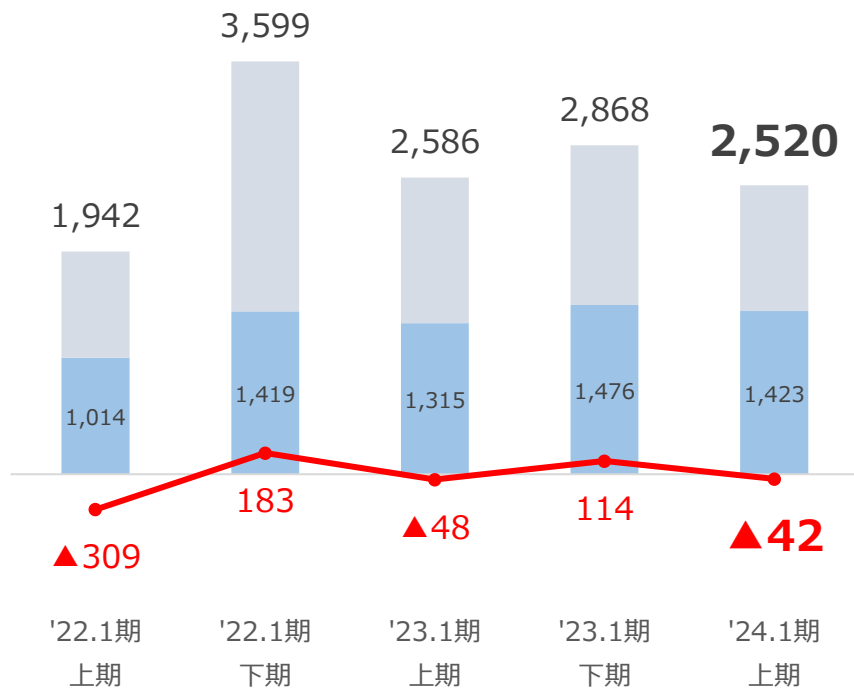
セグメント別営業損益（百万円）

IoT Webプラットフォーム ネットワーク



売上高・セグメント損益（百万円）

IoT その他 営業利益
 （電子出版、台湾等）



セグメントとしては前年比横ばいだが、IoTプロフェッショナルサービスは堅調

IoT分野

- IoTプロフェッショナルサービス*は収益性も維持しつつ売上も成長継続
- *コンサルも含むオーダーメイドの開発案件

その他

- 電子出版は前期上期の大型開発案件が一巡したことにより売上減

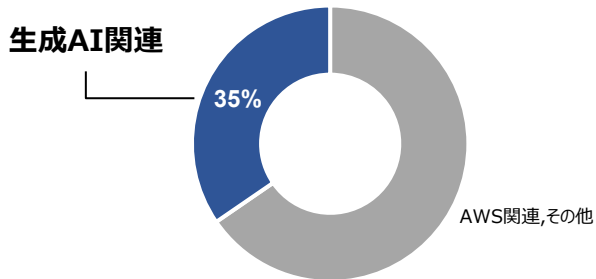
- ・プロフェッショナルサービス案件への引き合いも増加
- ・当社ソフトウェア製品・サービスへの組み込み

プロフェッショナルサービス案件獲得への活用

生成AI関連の引き合いが上期大きく増加

- ・ヘルプデスクや問い合わせ対応等への活用
 - ・作業日報や報告書作成業務の自動化や省力化
 - ・物流業における配車・ルート・スケジュール最適化
- ➔様々なニーズを受け企画段階から開発までワンストップで支援

プロフェッショナルサービス引き合いの案件種別（'24.1期 上期）



社内・自社製品への導入

当社ソフトウェア製品・サービスへの組み込み

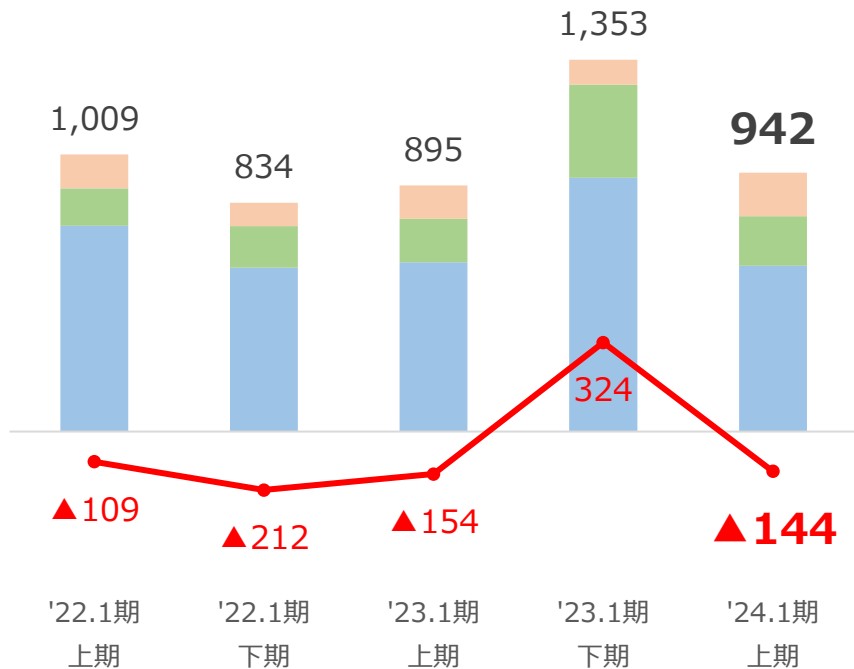
- ・ビジネスチャット「Linkit®」での「業務チャットボット拡張」開発サービスの提供
- ・通販支援サービス「CROS®」に「操作マニュアル問い合わせ対応自動化」の導入
- ・サインージソリューションと生成AI技術を連携

インフラ活用やナレッジ共有による全社取り組み

- [全社] 生成AI系利用ガイドラインの整備
- [開発] コード自動生成による開発活動の効率化を検討推進
- [営業] 生成AIサービスプレゼンテーションや勉強会の実施
- [管理] 社内問い合わせ等に活用

売上高・セグメント損益（百万円）

■ 日本 ■ 欧州 ■ 韓・中 ● 営業利益



拠点により増減あるが、全体としては前年比で増収増益基調

日本

- ・TV等の最終製品の在庫調整の潜在的なリスクは抱えつつも、概ね想定の範囲内で進捗

海外拠点

- ・欧州及び韓国拠点で車載インフォテインメント（IVI）案件が増加し業績改善

“Access Twine 4 Car” (以下“T4C”)の採用が進展

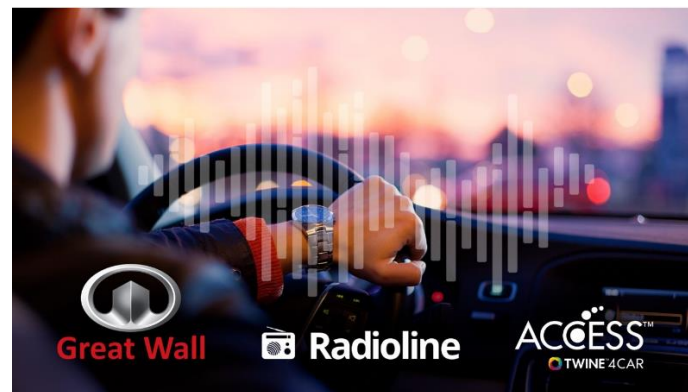
中国新興EVメーカー小鹏汽車でT4Cを採用

- ・新型車向けアプリ・ゲーム・動画配信PFとしてT4Cを採用
- ・今夏より欧州向け新型車に搭載
- ・出荷済み車両でもソフトウェアアップデートにより対応可能予定



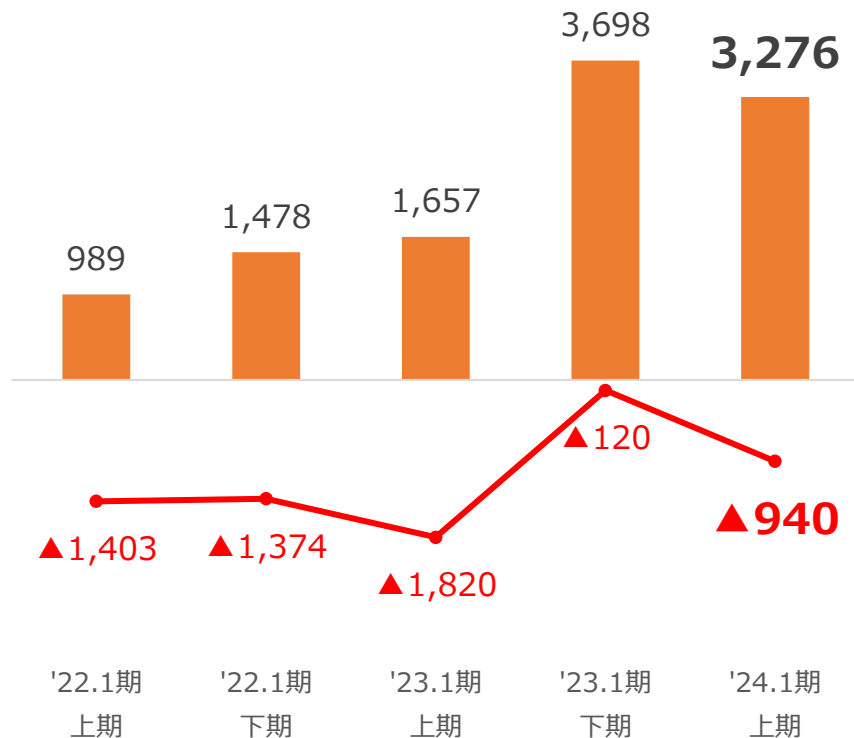
長城汽車にてT4CXRadiolineのIVIを採用

- ・欧州有数のポッドキャストであるRadiolineアプリをT4Cに統合
- ・欧州等に事業拡大している長城汽車でコネクテッドサービスへの高い期待を背景にIVIとして採用



売上高・セグメント損益（百万円）

■ ネットワーク ● 営業利益



急成長した前期下期に迫る 売上水準を当期上期も継続

ネットワーク事業

- ・ 新規顧客数は順調に増加し、「OcNOS」の顧客は累計で280社を突破
- ・ Q1での発表の通り、大型のリピート契約案件も受注するなど、製品競争力も増していると認識

02

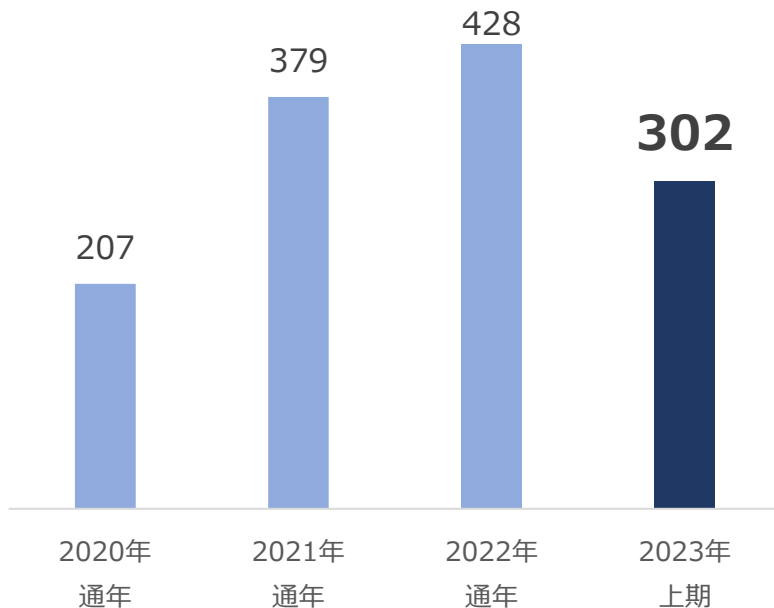
ネットワーク事業の進捗状況

受注件数・受注額の推移

- ・ 受注件数はQ1から勢いを落とさず増加（対前年同期比）
- ・ Q1の大型リピート案件の影響もあり、受注額は上期では過去最高

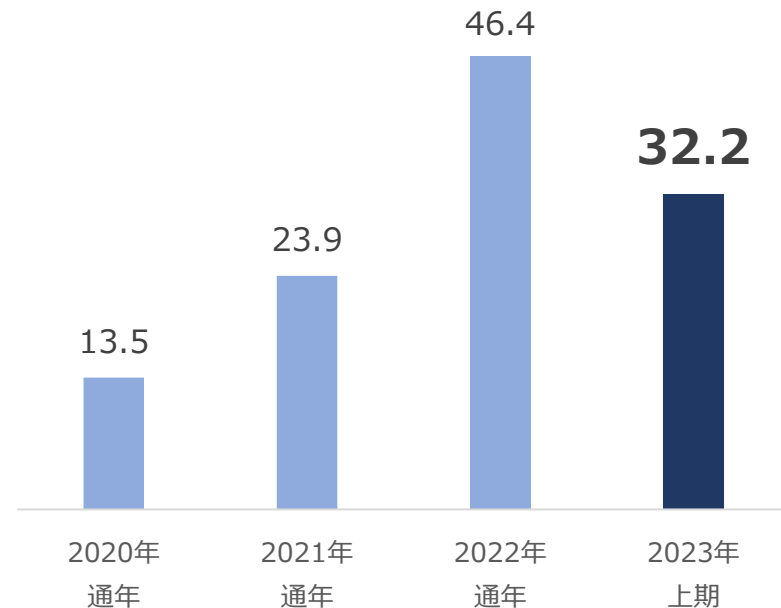
受注件数（件）

2023年上期の受注件数は、前年同期比で48%増加



受注額*（USD mil.） *複数年契約も含む

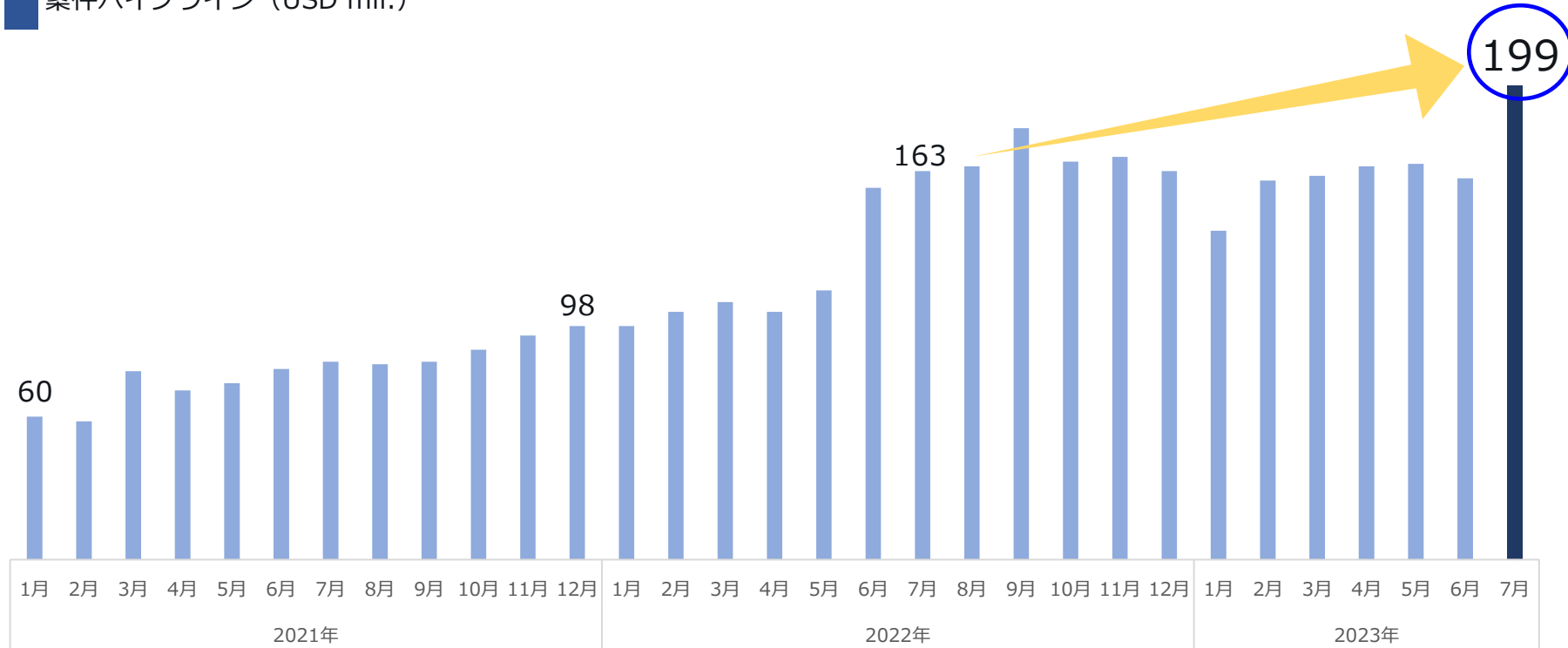
2023年上期の受注額は、前年同期の2倍超



案件パイプライン（潜在案件額）の推移

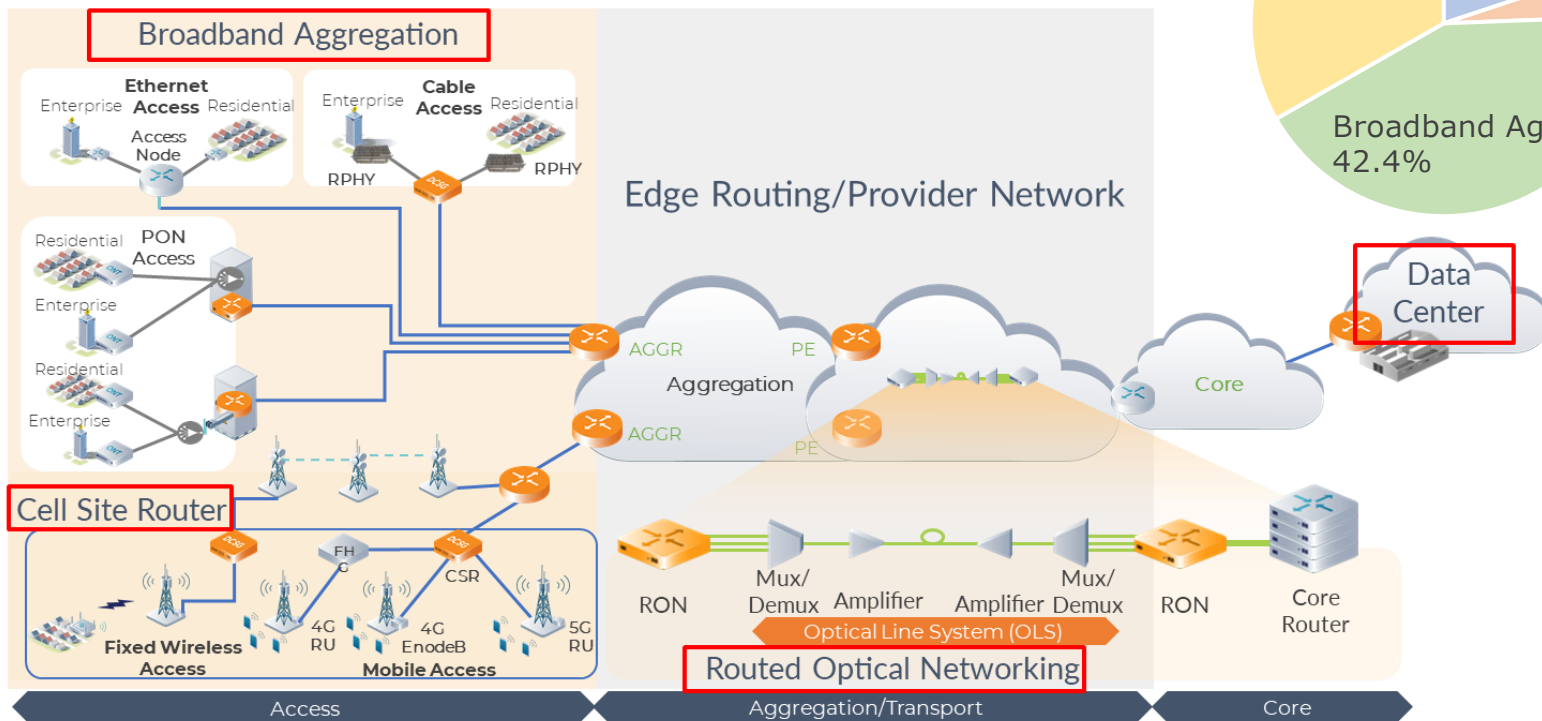
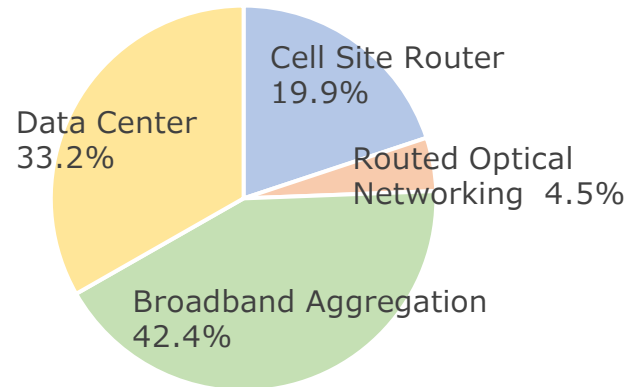
- ・ 直近で199mil USDの潜在案件額（引き合い等の合計であり、未受注の案件）
- ・ 金額ベースで前年同期比22%増加

案件パイプライン（USD mil.）



- これまでではBroadband Aggregation及びData Center向けの受注が多い

累計 受注*構成 (%) *複数年契約も含む



直近の主な採用事例



全米トップ25に入るISP事業者

Broadband Aggregation

- 既存のMikroTik及びArista Networks製品との相互運用性を確保
- 市場投入までの速さと低コスト
- 使いやすいUI、豊富な機能、シンプルさを実現



lintasarta
empowering your future

インドネシアのITサービス大手

Broadband Aggregation

- 自社レガシーネットワークのアップグレードにWhiteboxを採用し、低コストで大容量化
- レガシー機器との相互接続性を担保しつつ、サービス中断することなくシームレスかつ段階的にWhiteboxへ移行



フロリダのサービスプロバイダ

Broadband Aggregation

- 集合住宅 (MDU) 向けインターネットアクセスサービス用の機器を既存のJuniper製品からWhiteboxへ置換
- TCO (総所有コスト) を低減しつつネットワーク容量を拡充



米国の大手サービスプロバイダ

Broadband Aggregation

- 3つの異なるレガシーネットワークを統合
- ネットワークの安定性強化と運用コストの削減を両立
- 迅速な導入を実現



03

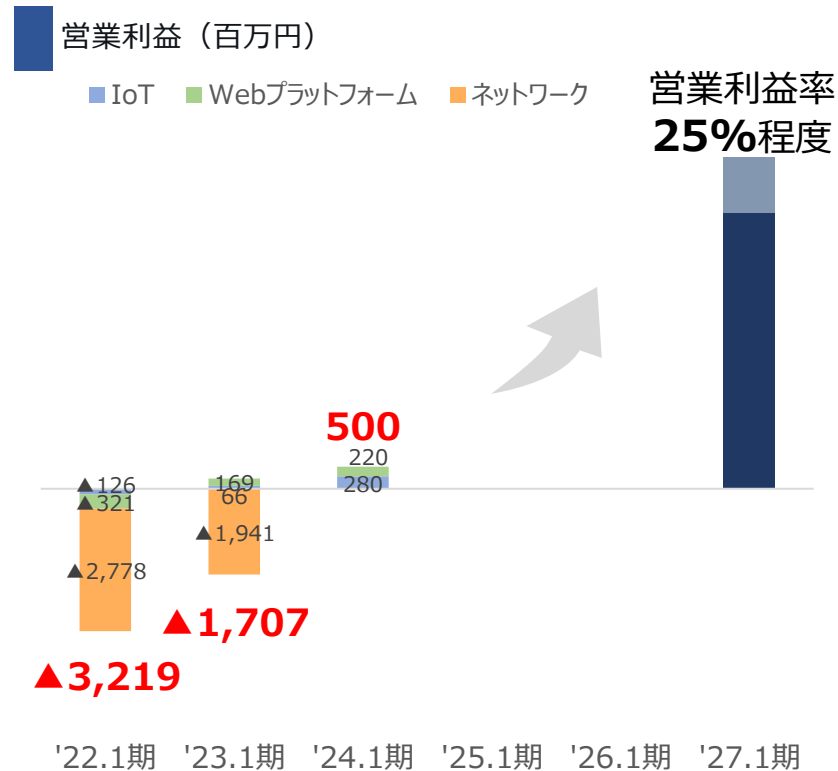
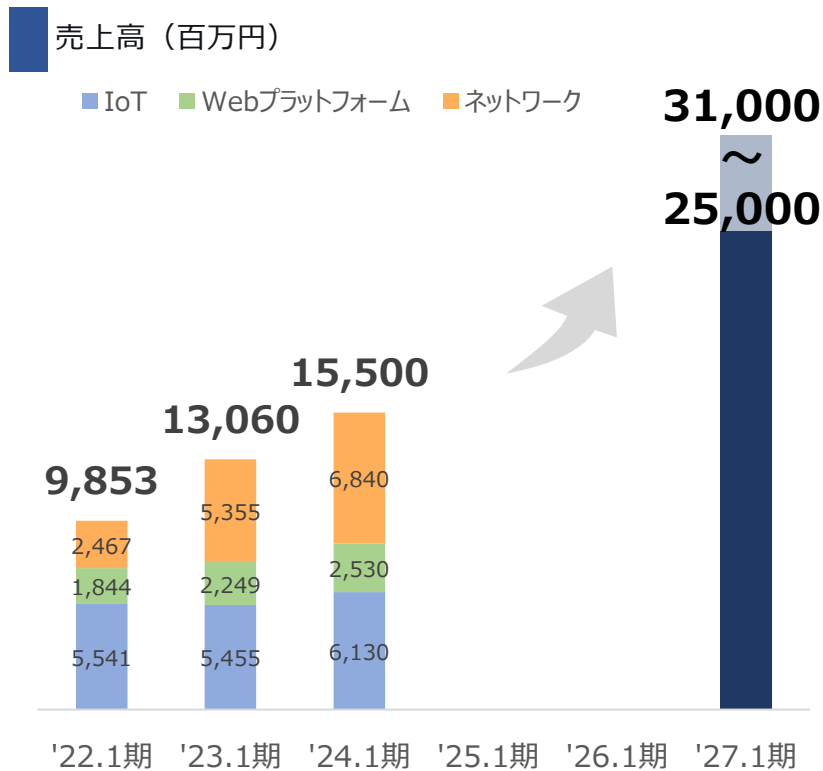
通期業績予想及び中期ビジョン (再掲)

引き続き売上成長を維持し、4期ぶりに黒字化

(百万円)	2023年1月期	2024年1月期	前期比
売上高	13,060	15,500	+2,439 / +18.7%
営業利益	▲1,707	500	+2,207 / —
経常利益	▲1,337	450	+1,787 / —
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲2,684	270	+2,952 / —
EBITDA*	2,337	3,900	+1,562 / +66.8%

* : EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

2027年1月期目標数値： 売上高：250億～310億円 営業利益率：25%程度



04






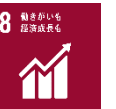


Appendix

ネットワーク事業が売上成長を牽引し、セグメント赤字を解消

(百万円)		2023年1月期	2024年1月期	前期比
IoT事業	売上高	5,455	6,130	+674 / +12.4%
	セグメント利益	66	280	+213 / +324.0%
Web プラットフォーム 事業	売上高	2,249	2,530	+280 / +12.5%
	セグメント利益	169	220	+50 / +29.6%
ネットワーク 事業	売上高	5,355	6,840	+1,484 / +27.7%
	セグメント利益	▲1,941	0	+1,941 / -

基本方針

「技術」「知恵」「創造性」と「勇気」で世界を革新し続ける独立系、企画・研究型企业というVision Statementのもと、IoT化を支える技術・製品を開発・提供し続けることにより社会の変革と新たな価値創造に貢献するとともに、ガラパゴス化に陥ることなくグローバルにスケールするビジネスモデルを構築し、企業価値の向上を目指してまいりました。引き続きこれらの実現に取り組むとともに、持続的な開発目標（SDGs）やESGを経営に取り入れ、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

分類	主な取り組み	関連SDGs/ESG
<p>【Environment】 当社は事業活動を通じて、社会・経済の発展と地球環境の維持・保全を両立した「持続可能な社会の実現」に貢献するため、環境負荷の低減を含めた様々な社会課題の解決に向けた取り組みを推進してまいります。</p>	<p>温室効果ガスの排出量削減及び省エネルギーに向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TCFD提言に基づく気候関連情報開示（準備中） ・オフィスの環境負荷軽減 ・環境関連法規等の順守・教育の実施 <p>事業を通じた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビューフ技術によるペーパーレス化推進への貢献 ・エネルギーマネージメントソリューションの開発 ・データセンターへのWhiteboxソリューション導入推進や低消費電力スイッチ・ルーター等の開発 等 	  
<p>【Social】 当社の企業理念実現に向けた人材マネジメントの基本的な方針策定・知的財産に関する基本方針の策定</p>	<p>人的資本に関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の尊重 ・ダイバーシティの推進 ・人材育成、働きやすい環境づくり ・健康・安全への取り組み <p>知的財産に関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的財産に関する管理・推進体制の構築 ・他社の知的財産の尊重 ・知的財産に関する継続的な教育 	   
<p>【Governance】 企業価値向上に向けたガバナンス強化・充実施策等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コーポレート・ガバナンス強化に向けた体制構築 ・定期的な取締役会実効性評価の実施 ・「公正性」「透明性」を確保した役員報酬の決定プロセス構築 ・コンプライアンス・リスク管理委員会による全社的なリスク把握とモニタリングの実施等による内部統制充実 ・各種通報窓口の整備 	

- 本資料に含まれる業績目標等、将来に関する記述については、現時点で入手可能な情報に基づき、当社グループで判断したものです。
- 将来に関する記述には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績は記載内容と異なる場合がございますので、本資料の記載内容に全面的に依拠して、投資等の判断を行うことは差し控えてください。

- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、PUBLUS、CROSは、日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの商標又は登録商標です。
- ACCESS Twineは、ACCESS Europe GmbHの欧州連合及びその他の国における商標又は登録商標です。
- IP Infusion、IP Infusionロゴ、ZebOS、OcNOSは、IP Infusion Inc.の米国及びその他の国における商標又は登録商標です。
- その他、文中に記載されている商標、会社名およびロゴマークは、それぞれ所有する会社に帰属します。



ACCESSTM

The logo features the word "ACCESS" in a bold, blue, sans-serif font. The letter "C" in the second "CC" is replaced by a large, semi-transparent blue sphere. Above the "E" and "S" are three smaller, semi-transparent blue spheres of decreasing size, arranged in a diagonal line. A trademark symbol (TM) is positioned to the upper right of the final "S".